

平成29年度 公共交通勉強会

公共交通を取り巻く環境は、自動車交通の普及や超高齢社会の到来など、様々な要因が複合的に重なり合う大変厳しい状況にあり、行政や交通事業者が単独で対応するには限界があります。

そこで、県では、公共交通を取り巻く諸課題の解決に向け、地域公共交通を担う人材の育成などを目的とし、行政及び事業者を対象とした勉強会を平成19年度から毎年開催しています。

地域公共交通に係る基礎知識の習得、行政と交通事業者相互間の連携と協働に向け、平成29年度は、「乗ってもらえる、乗りたいと思える公共交通に向けて」を年間テーマとして、法律、制度及び取組み事例などに関する講演を3回にわたり開催しました。

【主催】 兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課

【共催】 国土交通省近畿運輸局、神戸運輸監理部

【後援】 (公社)兵庫県バス協会、関西鉄道協会、兵庫県生活交通対策地域協議会、阪神都市圏公共交通利用促進会議

参加者数	区分	本編			番外編
		第1回	第2回	第3回	第1回
行政	国	6名	1名	—	—
	県(事務局含む)	18名	13名	11名	1名
事業者	市 町	52名	32名	21名	5名
	鉄道事業者	10名	7名	10名	—
	バス事業者	20名	18名	22名	—
	タクシー事業者	10名	5名	—	—
	その他	2名	5名	2名	1名
	計	118名	83名	66名	7名
		延べ274名			



第1回公共交通勉強会

本編

第1回	【日時】 平成29年7月19日(水) 13:00~17:30
	【場所】 ラッセホール
	【内容】
	<u>交通政策基本法及び交通政策基本計画等について</u> 国土交通省神戸運輸監理部 兵庫陸運部輸送部門首席運輸企画専門官 吉本 道明
	<u>地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画</u> 国土交通省神戸運輸監理部 総務企画部企画調整官 林 成好
<u>道路運送法の基礎知識について</u>	
<u>地域公共交通確保維持改善事業等支援制度について</u> 国土交通省神戸運輸監理部 兵庫陸運部輸送部門運輸企画専門官 大谷 健太郎	
<u>見える化と地域おこしによる交通まちづくりの取り組み</u> イーグルバス㈱ 代表取締役社長 谷島 賢	
<u>地域と連携した鉄道等公共交通機関活性化のポイント ~訪ねる人びとの目線に立って~</u> ㈱JTB総合研究所 主席研究員 吉田 賢一	

第 2 回	【日時】 平成 29 年 11 月 17 日(金) 13:00～17:15 【場所】 兵庫県立のじぎく会館 【内容】 <u>利用される公共交通を考える</u> 筑波大学大学院 システム情報工学研究科 教授 谷口 守 <u>ひたちBRTの概要について</u> 日立市 都市建設部 新交通推進課長 佐藤 祐一 <u>ヘルシートレイン（寒天列車）運行開始から30年</u> 明知鉄道株式会社 代表取締役専務 丸山 朝夫
	【日時】 平成 30 年 2 月 13 日(火) 13:20～17:00 【場所】 神戸市教育会館 【内容】 <u>モビリティ・マネジメントの概要とポイント</u> 筑波大学大学院 システム情報工学研究科 准教授 谷口 綾子 <u>選ばれ続けるために必要なこと</u> JTIC. SWISS 代表（内閣府・国土交通省・農林水産省認定「観光カスマ」）山田 桂一郎

番外編

第 1 回	【日時】 平成 29 年 7 月 24 日(月) 13:30～ 【場所】 川西市役所 【内容】 川西市夏季教職員研修講座（社会科教育研修）への参加 交通・環境・まちづくり・食育等を題材とした体験的学習プログラム 愛媛大学大学院理工学研究科 教授 松村 暢彦
-------------	---

参加者アンケート

【選択回答】

区分	第1回	第2回	第3回
回答総数	77 名	53 名	49 名
勉強会の満足度 (回答の平均)	76.5 点 (うち行政：73.7 点) (うち事業者：81.6 点)	79.2 点 (うち行政：76.1 点) (うち事業者：86.4 点)	85.3 点 (うち行政：85.3 点) (うち事業者：85.4 点)
会場までの交通手段	公共交通：80.5% 車：14.3% 徒歩：5.2%	公共交通：88.7% 車：7.5% 徒歩：3.8%	公共交通：91.7% 車：4.2% 徒歩：4.2%

【自由回答】

- 「交通事業におけるインバウンド対策などの多くの事例について知る良い機会となった」
- 「まちづくりと公共交通は密接な関係があり、まちづくりもあわせて考える必要があると理解した」
- 「『まちを黒字にする』ための公共交通という考え方が斬新だった」
- 「官・民・学のそれぞれの視点で、公共交通の知識を得られた」
- 「マンネリ化していたMMIについて、新しいヒントをたくさん得られた」
- 「公共交通を勉強する上で、観光・インバウンドをあわせて伺えたことが有益」
- 「社会の動きとあわせた講義は、参考になる点が多くあった」